

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第26週)

宮城県【平成25年07月04日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

- 2013.6.24 ~ 6.30 ・ 第26週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	患者数	累計	第23週	第24週	第25週	第26週
水痘	8 1.60	3 0.30	2 0.40	4 2.00	7 2.33	6 1.20	2 1.00	23 0.88	55 0.95	2,091	◎ →	◎ →	◎ →	◎
流行性耳下腺炎		7 0.70	2 0.40		1 0.33		3 1.50	12 0.46	25 0.43	590	レ →	→	→	○
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	18 3.60	39 3.90	5 1.00	9 4.50	10 3.33	8 1.60	2 1.00	128 4.92	219 3.78	10,803	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病	1 0.20	9 0.90			1 0.33	5 1.00		19 0.73	35 0.60	294	→	→	○ →	○
伝染性紅斑	5 1.00	3 0.30					1 0.50	6 0.23	15 0.26	319	レ →	○ →	レ →	
突発性発しん	1 0.20	7 0.70	13 2.60	2 1.00	6 2.00	2 0.40	2 1.00	14 0.54	47 0.81	931	○ →	○ →	レ →	○
ヘルパンギーナ	2 0.40	7 0.70	1 0.20	13 6.50	11 3.67	8 1.60		9 0.35	51 0.88	179	→	○ →	○ →	○
インフルエンザ	1 0.13								1 0.01	15,672	レ →	→	→	
咽頭結膜熱	2 0.40	3 0.30	2 0.40	1 0.50		5 1.00	2 1.00	14 0.54	29 0.50	484	○ →	レ →	○ →	○
流行性角結膜炎			1 1.00					3 0.50	4 0.33	78	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17 3.40	16 1.60	5 1.00	8 4.00	3 1.00	12 2.40		52 2.00	113 1.95	2,983	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		4 4.00	6 6.00				10 10.00	5 1.00	25 2.08	515	レ →	→	→	○
クラミア肺炎(オウム病は除く)			1 1.00					1 0.08	1 0.08	16	→	→	→	
RSウイルス感染症		4 0.40				1 0.20		5 0.19	10 0.17	262	→	→	→	
拡大疾病	1	2	5	1		3	3				：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 し、発生が少なくなっている傾向			
川崎病											【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>			
不明発疹症														

## 今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核

報告数	性別
大崎管内	男性2名
登米管内	男性1名(第18週)、女性1名
仙台管内	男性1名、女性2名(第25週)、女性4名
3類感染症: 腸管出血性大腸菌(O26)	
塩釜管内	男性4名、男児*1名、女性2名
仙台管内	男性1名
腸管出血性大腸菌(O103)	
栗原管内	女性2名(第25週)
登米管内	女児*1名
腸管出血性大腸菌(O145)	
栗原管内	男性2名、女性1名
腸管出血性大腸菌(O型不明、O74)	
登米管内	男児*1名(第24週)
腸管出血性大腸菌(O型不明)	
登米管内	女性1名(第25週)
4類感染症: レジオネラ症	
塩釜管内	男性2名
石巻管内	男性1名
仙台管内	男性2名
5類感染症: 梅毒	
石巻管内	男性1名
仙台管内	女性1名(第25週)
風しん	
塩釜管内	男性1名(検査診断例)
石巻管内	男性1名(検査診断例)
仙台管内	男性1名(第20週、検査診断例)、男性1名(第24週、検査診断例)、女性2名(検査診断例)

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告 (仙台市を含む基幹定点報告) 0例

### 今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【ヘルパンギーナ】

栗原管内で警報値を超えた。

【風しん】

今週あらたに6例の報告があり、2013年の累積報告数は85例となった。

### 【病原体検出情報】

～保健環境センター～

ヘルパンギーナ患者より

栗原管内 第26週採取分 A群コクサッキーウイルス(CA2型遺伝子) 6件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第24週採取分 (6.10～6.16)	第25週採取分 (6.17～6.23)	第26週採取分 (6.24～6.30)
パラインフルエンザウイルス1型	1件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	6件	4件	0件
RSウイルス	2件	1件	4件
Aデングウイルス	1件	0件	0件
サトウカボウイルス	1件	0件	0件

### インフルエンザ定点

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。  
宮城県: 51定点  
仙台市: 42定点  
合 計: 93定点

### インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

年齢群	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
報告週												
2013年 第24週	0.0	57.1	35.7	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14
第25週	0.0	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	7
第26週	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第24週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ:** 定点当たり報告数は第18週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(4.03)、鹿児島県(0.88)、熊本県(0.81)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は331例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約80%を占めている。咽頭結膜熱: 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。佐賀県(3.48)、広島県(1.79)、宮崎県(1.58)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は増加した。福井県(4.14)、鳥取県(3.95)、新潟県(3.72)が多い。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。宮崎県(9.64)、大分県(9.22)、鳥根県(8.39)が多い。水痘: 定点当たり報告数は増加した。福島県(2.53)、宮崎県(2.26)が多い。手足口病: 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。佐賀県(7.96)、福岡県(5.16)、熊本県(5.14)が多い。伝染性紅斑: 定点当たり報告数は増加した。富山県(1.21)、新潟県(0.67)、宮城県(0.59)が多い。百日咳: 定点当たり報告数は3週連続で増加した。沖縄県(0.18)、三重県(0.07)、滋賀県(0.06)が多い。ヘルパンギーナ: 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。熊本県(1.68)、山口県(1.66)、佐賀県(1.65)が多い。流行性耳下腺炎: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。福井県(0.77)、秋田県(0.74)、佐賀県(0.74)が多い。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。沖縄県(2.57)、石川県(2.40)、岩手県(2.37)が多い。